令和５年度（公社）砂防学会研究発表会「北海道大会」

研究発表会「北海道大会」実行委員会

令和５年度（公社）砂防学会研究発表会を，下記により開催いたしますのでお知らせします。多数のご参加と研究発表をお願いいたします。

なお「砂防学会研究発表会」は，CPD（技術者継続教育）の履修実績として申請することができます。（CPD に関するお問い合わせ先：砂防学会事務局 E-mail : sabo 274@abox 3.so-net.ne.jp）

Ⅰ．令和５年度（公社）砂防学会研究発表会「北海道大会」実施要領

１．期　　日　令和５年５月９日㈫～12 日㈮

２．開催方法　１日目は現地開催（札幌市内の会場）とオンラインのハイブリッド
２日目は現地開催（札幌市内の会場）とオンラインのハイブリッド
３日目は現地開催（札幌市内の会場）とオンラインのハイブリッド
４日目は現地開催（厚真町内）

会場：研究発表会
北海道大学クラーク会館，学術交流会館，百年記念会館
（札幌市北区北８条西５丁目 8-1）

意見交換会　実施予定（学会ホームページでお知らせします）
※意見交換会は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止する場合があることなどをご了承下さい。

３．日　　程　下記のとおりですが，今後変更することがあります。

※5 月 9 日の「特別講演」は一般公開となります。
※行政・企業展示は現地会場で実施し，オンラインでは配信しません。

４．現地会場への参加について

現地会場への参加を歓迎いたします。現地会場への参加を予定される方は，学会ホームページでの参加申し込みの際に，現地会場への参加の有無をご記入下さい。

現地会場に参加される方は，コロナ感染症対策をしっかり行っていただきますようお願いいたします。また，当日朝も含め，体調が不良の場合には会場への来場をお控え下さい。

５．現地研修会

現地研修会は，**砂防学会正会員および学生会員に限定して**大会４日目の５月 12 日㈮に行います。2018 年９月６日の胆振東部地震により発生した斜面崩壊跡地などでの砂防，治山による復旧対策，河道閉塞対策，町の復旧・復興状況などを見学します。１コース，40 名程度（申し込み先着順）の規模で行います。詳しくは，後のⅤ．をご覧下さい。

６．開会式と砂防学会賞授与式，学会賞受賞論文発表会

大会初日の５月９日㈫午前 11 時から開会式を開催し，令和５年度の砂防学会賞授与式を行います。同日午後２時から，砂防学会賞受賞者による受賞論文内容の発表を

行います。

7．特別講演（一般公開）

講　師：宮坂　尚市朗　氏（厚真町長）

演　題：「北海道胆振東部地震の被害状況と復旧対策について」

8．申込方法と参加費

研究発表会等の参加申し込みにつきましては，**学会ホームページの参加申込受付システム（WEB 申込）により行います。概要集掲載原稿の投稿を行なった方も必ず参加申し込みを行って下さい。**詳細は「Ⅵ.」をご覧下さい。WEB 申込期間は令和 5 年 4 月 3 日㈪（予定）～4 月 26 日㈬までです。

注意）現地会場には当日参加も可能ですが，LINC Biz の ID が発行されないため，オンラインによる発表（Zoom による口頭発表とチャットによる質疑，および LINC Biz 上に掲載されたポスターとチャットによる質疑）を見ることはできません。

9．研究発表会「北海道大会」実行委員会

委員長	**山田　孝**	**北海道大学教授**
委　員	**山口　真司**	**北海道大学特任教授**
〃	**笠井　美青**	**北海道大学准教授**
〃	**厚井　高志**	**北海道大学准教授**
〃	**小林　幹男**	**国土交通省北海道開発局帯広開発建設部長**
〃	**三道　義己**	**国土交通省北海道開発局建設部河川計画課河川計画専門官**
〃	**鈴木　正祐**	**林野庁北海道森林管理局計画保全部治山課長**
〃	**吉田　安範**	**北海道建設部土木局河川砂防課砂防災害担当課長**
〃	**土岐　倫功**	**北海道水産林務部治山課長**
〃	**吉田　良行**	**厚真町防災担当理事**
〃	**早川　智也**	**日本工営株式会社広島支店次長・砂防学会北海道支部副支部長**
〃	**井上　涼子**	**明治コンサルタント株式会社北海道技術部部長**
〃	**塩野　康浩**	**国土防災技術北海道株式会社技術業務部技術部長**
〃	**杉浦　信男**	**（公社）砂防学会事務局長**

Ⅱ．令和 5 年度砂防学会研究発表会要領

1．発表セッション（現地会場＋オンライン）

発表方法は，口頭発表とポスター発表があります。どちらも現地会場での発表とオンライン発表のハイブリッドで開催します。発表申込の時点で，口頭発表もしくはポスター発表を選択いただきますが，**会場およびスケジュールの都合で発表形式の変更をお願いする場合があります。その判断は実行委員会に一任願います。**口頭発表のセッションでは，テーマ別セッションおよび一般セッションを設けます

2．発表者の資格

口頭発表（テーマ別セッションおよび一般セッション）とポスター発表の発表者は，発表申込時点および研究発表時点において砂防学会の正会員か学生会員に限ります（グループでの発表の場合は，発表者が会員であることが必要です）。なお，発表者とは，現地会場にて対面あるいはオンラインで発表するもの（1 名）を指します。発表者としての件数は，1 件とします（発表者以外の共著者の場合はこの限りではありません）。

3．口頭発表　テーマ別セッション

3.1.　発表方法

発表は，現地会場でプロジェクターに投影するとともに，Zoom を用いた画面共有によるオンラインで行う予定です。チャット機能を利用して質疑応答を行うことが可能です。

発表ファイルは，USB メモリにファイルを格納して持参して下さい。発表会開始前までに，各自で動作確認を行っていただきます。会場に準備するパソコンの OS は Windows 10，ソフトは Power Point 2019 を予定しています。フォントに関しては標準搭載されているものをご使用下さい。演台上には，ノート PC とマウスが置いてあります。演台上のノート PC をご自身で操作してご発表下さい。発表に用いたデータは，会期終了後，主催者側で責任をもって PC からデータを消去します。

詳細は，砂防学会ホームページ「令和 5 年度（公社）砂防学会研究発表会「北海道大会」」（https : //jsece.or.jp）に掲載するとともに，発表者に連絡します。

3.2.　セッションの概要

(1) 砂防分野における DX の取り組みについて

スマートフォンや IoT デバイス等の機器の普及，デジタル技術の革新，通信環境の整備が進んでいる中で，業務そのものが効率化し，さらに抜本的に変革する DX（デジタル・トランスフォーメーション）が進展している。砂防事業では，DX として 3 D データ（BIM/CIM），UAV や人工衛星，AI による画像解析や，高速通信（5 G）の活用が推進され，設計施工のみならず，流域情報の把握が飛躍的に進化している。

このような状況を踏まえて，本セッションでは砂防に関する調査・測量・設計・施工・維持管理（監視・観測を含む）などの分野における最新の DX 取組状況を共有し，現状と課題および今後の方向性や将来性について議論を行う。

コーディネーター：秋山　一弥

（国土交通省国土技術政策総合研究所）

(2) 砂防施設の長寿命化・効率化に向けた取り組み

土砂災害が頻発する近年の状況下において，既設砂防

堰堤等の機能を長期的に維持・確保し続けることが求められている。また，改築などによる機能向上，対策施設の効率的な計画などにより，土砂災害に対する安全を早期に実現・向上させることも重要である。

本セッションでは，砂防堰堤を中心とした既設砂防施設の長寿命化・機能向上等に向けた計画・設計例や，現地状況に応じた効率的な砂防施設の計画・設計・施工例などの事例等を共有し，より効率的・効果的な砂防事業の推進に向けた方策などに関する議論を行う。

コーディネーター：河合　政岐（日本工営株式会社）

(3) 森林施業や森林整備が土砂生産に与える影響について

林地では，木材をはじめとする林産物の供給のための森林施業に加え，森林の多面的機能を維持・増進することを目的とした森林整備が行われる。近年，新型コロナウイルス感染症の影響等による木材不足・価格高騰（いわゆるウッドショック）や 2050 年カーボンニュートラルを視野としたグリーン成長の実現を目指す動きの中で，森林及び林業の動向が変化し，森林施業・森林整備の内容も大きく変わりつつあることが考えられる。本セッションでは，森林施業・森林整備およびこれらに付随する林道敷設が土砂生産に与える影響について検討する。

コーディネーター：執印　康裕（九州大学農学研究院）

4．口頭発表　一般セッション

4.1.　発表方法

発表は，現地会場でプロジェクターに投影するとともに，Zoom を用いた画面共有によるオンラインで行う予定です。チャット機能を利用して質疑応答を行うことが可能です。

発表ファイルは，USB メモリにファイルを格納して持参して下さい。発表会開始前までに，各自で動作確認を行っていただきます。会場に準備するパソコンの OS は Windows 10，ソフトは Power Point 2019 を予定しています。フォントに関しては標準搭載されているものをご使用下さい。演台上には，ノート PC とマウスが置いてあります。演台上のノート PC をご自身で操作してご発表下さい。発表に用いたデータは，会期終了後，主催者側で責任をもって PC からデータを消去します。

詳細は，砂防学会ホームページ「令和 5 年度（公社）砂防学会研究発表会「北海道大会」」（https : //jsece.or.jp）に掲載するとともに，発表者に連絡します。

4.2.　発表内容

土石流，斜面崩壊，地すべり，表面侵食，地震や噴火，融雪等に起因した土砂流出等による土砂災害およびそれらの対策，斜面緑化，森林水文，森林が土砂流出に与える影響，土砂災害対策と生態系保全，砂防の社会的評価に関するもので，原則として学会等に未発表のものに限ります。

5．ポスター発表

5.1.　発表方法

ポスター発表は LINC Biz を利用し，事前にコンテンツをアップロードした上で公開し，現地会場での対面発表あるいはオンライン発表となります。LINC Biz のチャット機能を利用した質疑応答は 2023 年 5 月 14 日㈰まで可能です。詳細は，砂防学会ホームページ「令和 5 年度（公社）砂防学会研究発表会「北海道大会」」（https : //jsece.or.jp）に掲載するとともに，発表者に連絡します。

5.2.　発表内容

土石流，斜面崩壊，地すべり，表面侵食，地震や噴火，融雪等に起因した土砂流出等による土砂災害およびそれらの対策，斜面緑化，森林水文，森林が土砂流出に与える影響，土砂災害対策と生態系保全，砂防の社会的評価に関するもので，原則として学会等に未発表のものに限ります。

6．発表申し込み（2 月 15 日に終了しました）。

本大会の発表申し込みは，すべて（テーマ別セッションも含む）原稿投稿システムによるオンラインで受け付けました。

7．概要集掲載原稿の投稿

概要集掲載原稿の投稿もすべて原稿投稿システムによるオンラインで受け付けます。下記の原稿作成要領に従って原稿を作成し，PDF 形式（2 MB 以下）に変換して投稿して下さい。ポスターセッションによる発表についても概要集掲載が必要です。

提出期限は令和 5 年 4 月 10 日㈪です。提出期限以降は受け付けられませんので，期限厳守をお願いいたします。なお，投稿を行っても参加申し込みにはなりません。**参加申し込みは別途行って下さい。**

8．研究発表会概要集の公開

研究発表会概要集は，電子版を砂防学会ホームページで公開します（4 月末予定）。研究発表会の前に，参加者各自でダウンロードしていただきますよう，お願いします。

9．研究発表要領に関する問い合わせ先

〒060－8589 札幌市北区北 9 条西 9 丁目
北海道大学農学研究院　笠井　美青
e-mail : kasaim@agr.hokudai.ac.jp

Ⅲ．砂防学会研究発表会概要集掲載原稿作成要領

本大会では概要集の印刷・配布は行いません。提出されたPDFファイルの原稿にページを付した後，砂防学会ウェブサイトに掲載します。以下の諸点に留意の上，鮮明な原稿の提出をお願いします。

1．原稿書体

原稿は原則としてMSワード等のワープロソフトで作成して下さい。

2．原稿用紙および文字のサイズ

用紙サイズはA4とし，上15 mm，下25 mm，左20 mm，右10 mmを確保して下さい。1行の文字数および1ページの行数は自由とします。ただし，文字のサイズは10ポイント以上とします。

3．原稿枚数

2ページとします。1ページあるいは3ページ以上は受け付けません。

4．題名および氏名

題名および氏名は必ず発表申し込み時と同一にして下さい（齟齬があった場合でもプログラムの修正は原則行いません）。題名は第1行目の中央に書き，1行あけて所属，発表者名（連名の場合は発表者の先頭に○印を付ける）を右側に寄せて書いて下さい。題名は本文よりやや大きめに書いて下さい。1行あけて本文を書き始めて下さい。

5．使用する文字

使用する文字や仮名遣いは，原則として「常用漢字表」「現代仮名遣い」に従って書いて下さい。

6．改行

改行した場合の次の行は，必ず1字あけて書き始めて下さい。

7．文字の割付

句読点，（ ），：，引用記号および1桁アラビア数字には1マスをあて，アルファベットおよび2桁以上のアラビア数字には2字で1マスをあてて下さい。

8．見出し番号

本文の章，節等には次の記号を使用して下さい。

章 1，2，3

節 1.1，1.2，1.3

節以下 1.1.1，1.1.2，1.1.3

9．参考文献

内容に関係のある参考文献を最後にあげて下さい。

10．図表・写真

図表・写真はすべてクリアにし，原則として本文の間の所定の位置に挿入して下さい。左右に余白ができたときは，その部分にも本文を記入して下さい。カラーの図および写真を使用しても構いません。

11．原稿のPDF化と取り扱い

完成した原稿は，PDF化ソフト（例えば，Adobe Acrobat等）を用い，フォントを埋め込んだPDFファイル（2 MB以下）を作成して下さい。原稿にはページ番号を入れないで下さい。なお，PDF化された原稿からそのまま概要集を作成しますので，不鮮明なものについては再提出をお願いすることがあります。ご了承下さい。

12．原稿作成要領に関する問い合わせ

〒060-8589　札幌市北区北9条西9丁目
北海道大学農学研究院　　桂　真也
e-mail : skatsura@agr.hokudai.ac.jp

Ⅳ．ポスターセッション現地会場内展示とオンライン発表

1．現地会場での対面発表の場合

現地会場に掲示できるポスター発表1件あたりのポスター掲示範囲の大きさは，幅90 cm，高さ180 cmを予定しています。詳細は，学会HPをご覧下さい。会場でポスターを掲示する方もオンライン（LINC Biz）へのデータアップロードが必要です。

2．オンライン発表

オンラインによるポスター発表は以下のように予定しております。PCやタブレット端末画面での閲覧となるため，それに適したサイズ（例：A4横）をおすすめします。

・投稿形式：PDF，静止画（JPEG，PNG），動画（MP 4），音声（MP 4 audio）
※JPEG, PNGのポスターのみサムネイル表示されます。
※画像の解像度は6048×4032 pixel以内です。
※パワーポイントには対応しておりません。

・ファイル容量：1ファイルあたり100 MBまで。

・投稿時の制限：1人1ファイルの投稿を基本として下さい。2ファイル以上の登録を希望する場合は，学会事務局にその旨ご報告下さい。

学会事務局　E-mail : sabo274@abox3.so-net.ne.jp
詳細は学会HPをご覧下さい。

Ⅴ．現地研修会

砂防学会会員を対象に現地研修会を大会4日目の5月12日㈮に行います。1コース，定員40名の規模で行います。

1．参加資格・参加員数・集合・出発・時刻・参加費

・参加申し込みは砂防学会正会員，学生会員および名誉会員に限定いたします。
・参加員数は40名程度（申し込み先着順）とします。定員に達しましたら，以降のお申し込みをお断りすることがあります。また，お申し込みが非常に少ない場合も，中止の可能性があります。ご了承下さい。
・集合地は，札幌駅北口バスターミナルです。
・集合地での出発時間
札幌駅北口バスターミナル　9時30分出発
※出発時間の5分前には集合して下さい。
・参加費（税込み）　4,000円（弁当なし）
5,000円（弁当付，弁当代1,000円）

※昼食時間を過ごす予定の厚真町内は飲食店が分散しているため，あらかじめ設定した昼食会場にて弁当か持参の昼食をとっていただきます。食品アレルギーのある方，弁当を希望されない方は昼食を持参下さい。

2．コロナ感染状況による実施判断等について

・コロナ感染状況により，研修会の実施が困難と判断された場合，中止といたします。
・中止の判断がされた場合は速やかに学会事務局よりご登録のメールアドレスに連絡いたします。
・参加費は払い戻しいたします。後日，学会事務局よりご登録のメールアドレスに連絡します。

3．主な行程と予定時刻

5/12㈫　9：30　札幌駅北口バスターミナル　→　11：00　厚真町役場　慰霊碑見学，震災や復旧・復興の概要説明　昼食→　12：40　北海道治山事業（東和地区）→　13：00　北海道砂防事業（富里地区　急傾斜地崩壊対策）　直轄砂防事業　湛水池,露頭の見学　（幌内地区）→　15：30　新千歳空港　→　16：30　札幌駅北口バスターミナル

※　天候，路面，現場や交通混雑の状況によっては，時刻が大幅に遅れる可能性があります。

4．服装

・工事現場などを見学しますので，各自，適切な服装，靴等でご参加下さい。
・ヘルメットは，現場事務所で準備します。
・雨具の準備は，各自でお願いします。
・出発時に500ミリリットル飲料水1本をお渡しします。

5．手荷物

・各自，乗車バスのトランクルームをご利用下さい。貴重品の管理は各自でお願いします。

6．雨天時等の対応

・雨天等により当日中止となった場合，集合場所で連絡します。この場合の参加費の払い戻し等については，後日，学会事務局よりご登録のメールアドレスに連絡します。

7．CPD

・CPDは乗車後に配付します。
・CPD単位は1.5の予定です。

8．保険

・国内旅行傷害保険（1人当たり保険料500円）に加入します。

9．その他

・現地研修会参加にあたっては，コロナ感染状況により感染対策をお願いすることがあります。

Ⅵ．令和5年度（公社）砂防学会研究発表会参加申し込みのご案内

1．参加申し込み

参加の申し込みは，砂防学会ホームページから行って下さい(WEB申込)。WEB申込ページの入力フォーマットに従って直接入力して下さい。団体の場合も，WEB申込をして下さい。見積書，請求書はWEBサイトから出力できます。支払いはクレジット決済，コンビニ決済，あるいは**銀行振り込み**をご利用下さい。領収書は学会にて入金を確認した後にWEBサイトから出力できます。

受付期間は令和5年4月3日月（予定）から4月26日㈬までで，コンビニ決済ならびに**銀行振り込み**の入金期限は5月5日㈮です。参加費は下記のとおりですが，今後多少の増減があることをご了承下さい。3月下旬には確定しますので詳しくは学会HPをご覧下さい。なお，オンライン参加のみの場合と，それに加え現地参加もする場合とで，参加費は変わりません。

4月26日までに参加申し込みをされた場合

・研究発表会参加費（予定）
・正会員　7,000円
・非会員　10,000円
・学　生　無料

・意見交換会参加費
（予定，参加人数によっては今後変更あり）
・正会員　6,000 円
・非会員　8,000 円
・学　生　1,000 円
※参加費は 5 月 5 日㈮までに全額前納して下さい。なお，入金後に取消し等の返金はいたしません。

当日参加（対面のみ）の場合は，
・正会員　10,000 円
・非会員　13,000 円
・学　生　無料
・意見交換会参加費（予定）
・正会員　7,000 円
・非会員　10,000 円
・学　生　2,000 円

2．申込締め切り日
令和 5 年 4 月 26 日㈬

3．申し込み後の変更・取り消しについて
申し込み後に変更・取り消しが生じた場合は，学会事務局までご連絡下さい。
E-mail : sabo 274@abox 3.so-net.ne.jp

4．個人情報の取り扱いについて
お送りいただきました個人情報については，連絡のために利用させていただくほか，申し込みいただいた「令和 5 年度（公社）砂防学会研究発表会「北海道大会」」の円滑な運営のために必要な範囲内で利用します。

【申し込み・入金】

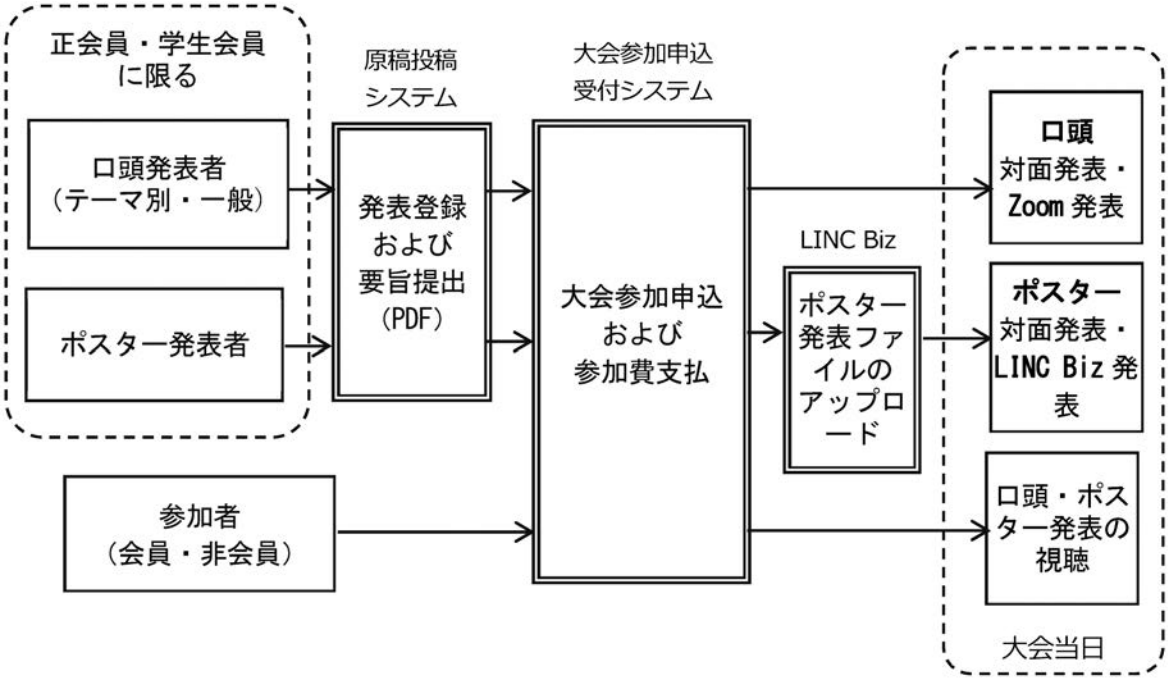
申し込みのステップ	内　容
①砂防学会 ホームページ	https : //jsece.or.jp/ 「令和 5 年度（公社）砂防学会研究発表会「北海道大会」」のページに，申込専用ページへのリンクが掲載されます。
②お申し込み	入力フォーマットに従って直接入力して下さい。 ※送信後，自動返信で受付け確認がメール送信されます。
③見積書・請求書	参加費の見積書および請求書は申込専用ページから出力できます。
④参加費のお支払い	クレジット決済，コンビニ決済，あるいは銀行振り込みをご利用下さい。銀行振り込みをされる場合の振込手数料は申込者負担となります。
⑤領収書および参加票	学会が入金を確認しましたら，申込専用ページから領収書および参加票（研究発表会）が出力できます。
⑥Zoom および LINC Biz 利用情報の連絡	入金確認後，Zoom および LINC Biz の利用情報を申込時に指定したメール宛に連絡します。
⑦変更・取り消し	学会事務局までご連絡下さい。sabo 274@abox 3.so-net.ne.jp ※入金後の返納不可

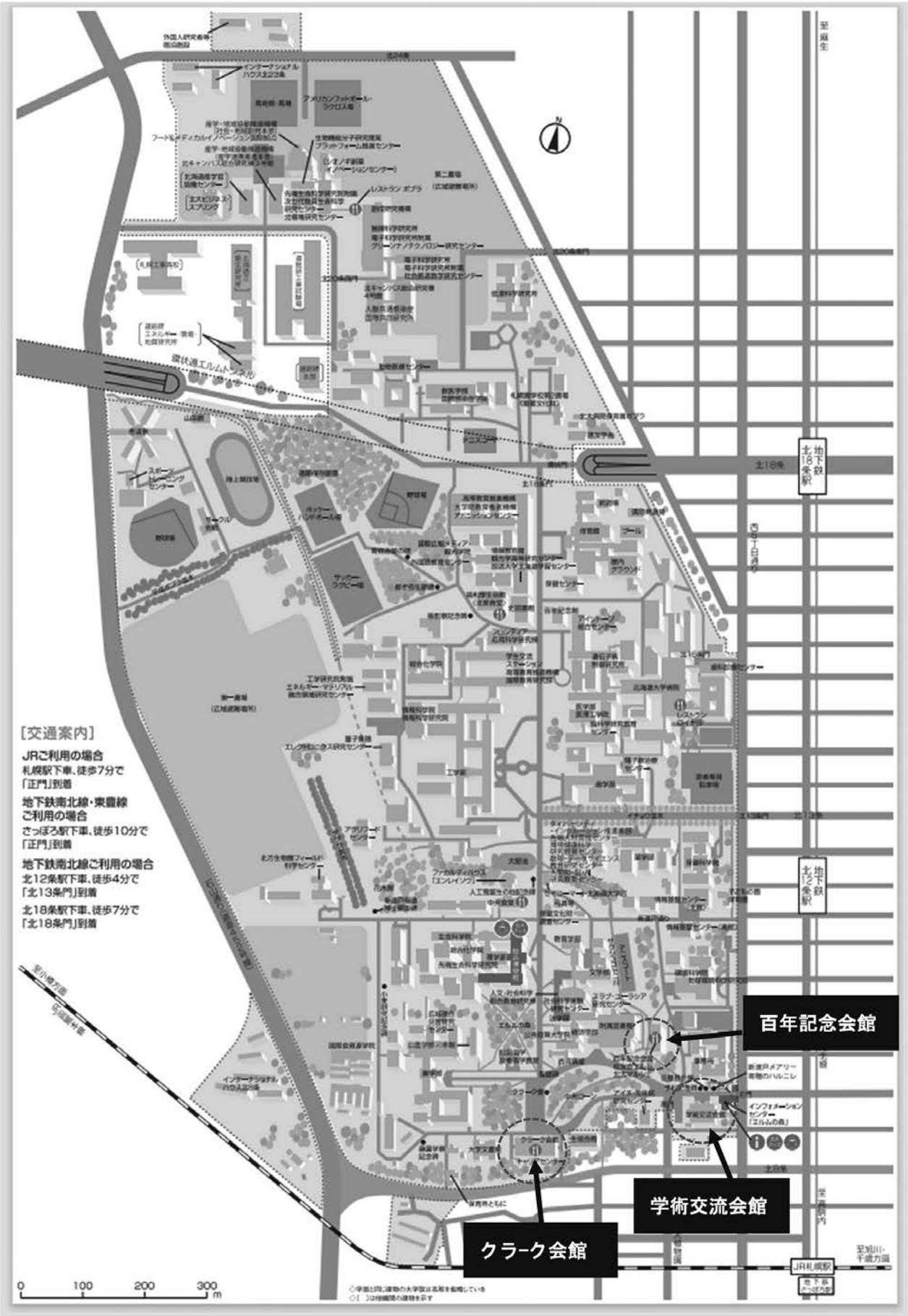
※参加申込期間は令和 5 年 4 月 3 日㈪～令和 5 年 4 月 26 日㈬の予定です。

◆お問い合わせ先

「令和 5 年度（公社）砂防学会研究発表会」事務局
住所　〒102−0093　東京都千代田区平河町 2−7−4 砂防会館別館 A 棟 3 階
公益社団法人　砂防学会　事務局
FAX　03−3230−6759　受付時間：月～金　10：00～16：00
ホームページ　https : //jsece.or.jp/
E-mail : sabo 274@abox 3.so-net.ne.jp

◆発表・参加申し込み模式図



クラーク会館：https://www.hokudai.ac.jp/bureau/property/clarke/
学術交流会館：https://www.hokudai.ac.jp/bureau/property/s01/
百年記念会館：https://www.hokudai.ac.jp/bureau/property/s03/

令和５年度（公社）砂防学会研究発表会「北海道大会」